

# 第89期 報告書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで



株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素のご支援に対し心からお礼申し上げます。

第89期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）の事業内容をご報告するにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

当期の経営環境を概観しますと、平成20年後半からの世界経済の減速下でのスタートとなりましたが、各国の財政・金融政策により、緩やかに回復しました。わが国経済もアジア向け輸出の拡大等により、徐々に回復に向かいましたが、内需不足と供給過剰によるデフレ傾向が顕著になるなど、本格的な回復には至りませんでした。

このような内外情勢のもと、豊田通商グループは、より一層の事業領域の拡大に努める一方、収益の向上と財務体質強化に努めてまいりました。しかしながら、市況の下落や販売減等により、売上高

## ■ フラッグシップ・メッセージ

**G VALUE**  
with you

豊田通商グループは、「人・社会・地球との共存共栄をはかり、豊かな社会づくりに貢献する価値創造企業を目指す」という企業理念のもと、オープンでフェアな企業活動に努めるとともに社会的責任の遂行と地球環境の保全に取り組み、創造性を発揮して、お客様、株主、従業員、地域社会など、すべてのステークホルダーにご満足いただける「付加価値の提供」を経営の基本理念としております。

この実現に向け、豊田通商グループは、「G VALUE with you」をフラッグシップ・メッセージに、3つの「G」を豊田通商グループにおける価値創造の基本要件としております。

は5兆1,022億円、経常利益673億円、当期純利益は273億円となりました。

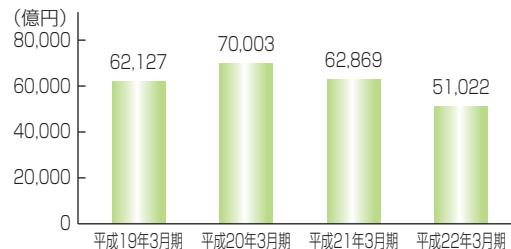
これにより、期末配当金について、1株当たり8円とすることを第89回定時株主総会でご提案したいと存じます。なお、当期の1株当たりの配当金は、年間では中間配当金8円と合わせ、16円となり、前期配当金に比べ10円の減配となります。

平成22年度については、引き続き厳しい経営環境が継続するものと思われませんが、今後とも一層の経営の効率化と収益力の向上に向けた取り組みを継続し、企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

取締役社長 清水順三

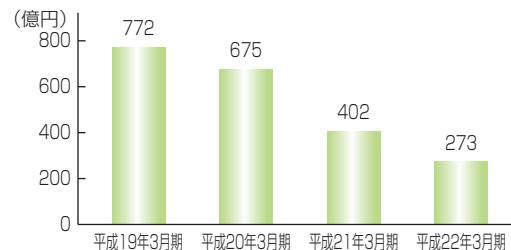
## ■ 売上高



## ■ 経常利益



## ■ 当期純利益



### ■ 豊田通商グループにおける価値創造の3つの基本要件

**Global** ~世界を舞台とした活動の展開

**Glowing** ~健康的にして燃えたつような意欲、情熱の保持

**Generating** ~新しい事業を創造し続けること

社員一人ひとりが、自分の「G」(目標や課題)を見つけ、それぞれの多彩な個性を集結させ、新たに生み出していく価値が豊田通商グループの「G' Value」となります。また、あらゆるステークホルダーの皆様とともに(with you)、より豊かな「G' Value」を創り、その成果をともに分かち合いたい、そんな思いをこのメッセージに込めております。